

ドイツ語を通じた世界中の人たちとの交流 ーAKBPフォーラム2016に参加してー

段野下 宙志

2016年4月13日から15日まで、ベルリンで、ドイツ外務省主催のPASCHフォーラム *AKBP-Welt Klasse!* が開催されました。AKBPとは、外交 *Auswärtig* 文化 *Kultur* 教育政策 *Bildungspolitik* の頭文字を取った略語です。このフォーラムには、世界中からPASCH関係者が参加し、参加国の数は30を超えました。3日間という短い期間でしたが、毎日充実したプログラムが用意されていて、参加者は有意義な日々を過ごすことができました。このフォーラムに日本から参加した私たちは、この3日間、PASCH-netのソーシャルメディアチームの一員として、フォーラムの期間に行われた催しを、*Facebook*や*Instagram*などのSNSに、リアルタイムで随時報告しました。

フォーラム1日目の4月13日、ドイツ外務省で歓迎レセプションが開催されました。歓迎会の冒頭には、世界中のPASCH生によるビデオレターが上映され、どのビデオメッセージからもドイツ語を学ぶ楽しさが伝わってきました。またゲーテ・インスティトゥート事務総長のヨハネス・エーベルト氏に、私たち、ソーシャルメディアチームがインタビューをする機会もありました。エーベルト氏は私たちの質問一つ一つに親切に答えてくれ、またPASCHの今後の展望や抱負について語ってくれました。彼が学生時代にイスラム学を専攻していたことや、世界各地でドイツ語を教えた経験などについて拝聴することができました。(<https://www.facebook.com/paschnet/?fref=ts>)

フォーラム2日目の4月14日、ベルリン西部のヴァルトギムナジウムでワークショップが開催されました。演劇やマンガ、料理、科学の実験、ポエタリースラムなど、20以上のワークショップがあり、フォーラム参加者は各自興味のあるワークショップに参加することができました。私たちソーシャルメディアチームは、多くのワークショップを回って、その様子取材しました。また、その日の夜にも、ベルリン市内各地でプログラムが用意されていて、私たちは、クアフルステンダムの映画館で、*Kaddisch für einen Freund (Leo Khasin, 2012)* と題する映画を鑑賞しました。この映画の主人公は、ベルリンのクロイツベルクに家族で移住してきたパレスチナの少年で、上階に住むロシア系ユダヤ人の老人との交流が映画の主題となっていました。この映画の背景には、パレスチナ問題があり、内容的に私たち日本人にとっては理解することが難しいものでした。多くの国の人とのコミュニケーションのためには、言語を学ぶことだけでなく、歴史や宗教、民族問題についても学ぶことが重要であることを実感させられた映画でした。

フォーラム最終日の4月15日、ルッケンヴァルダー通りにあるコンベンション施設「ステーション・ベルリン」で、ドイツ語教育に関する大規模な展示会や講演会が開催されました。ここでも前日同様、参加者は、20以上のワークショップから興味のあるものを選んで参加することができました。夕方、この催しの最後に、ドイツ外務大臣のフランク=ヴァル

ター・シュタインマイアー氏によるスピーチがありました。スピーチの後、シュタインマイアー氏とPASCH生が記念撮影をしました。あまりの人数の多さに写真に入りきらなかった人もいたほどでした。それは、このフォーラムの規模の大きさを示していました。

このような世界中のPASCH校のフォーラムに参加できたことを、私はたいへん嬉しく思います。PASCH校生の共通言語であるドイツ語を通して、たくさんの人とさまざまな事柄を話すことができ、非常に良い経験になりました。若者の流行や、趣味などの話は、聞いていて特に興味深かったです。海外でも日本の「マンガ」や「アニメ」は有名でした。自分の国のものが相手の国で流行していることを、すこし誇らしく感じました。また、世界中の参加者たちと話すことによって、相手の国について見聞を広げられることは、私にとってとても有意義なものでした。しかし、自分の国ことを聞かれて、上手くドイツ語で説明できない場面もありました。私はこれからもっと多くの人と交流して、多くの国の話を聞きたいと思いました。そのためにも、世界中の歴史や文化、言語の学習にこれからも励んでいきたいと思っています。そして、今回のワークショップのように、ドイツ語で自分の興味のある分野について学ぶことに大変魅力を感じました。このような機会があれば今後も積極的に参加していきたいと思っています。このような素晴らしい機会をくださった、PASCH関係者全ての方々に心よりお礼申し上げます。